

## 1. 開会及び閉会に関する事項

開会 令和7年9月25日(木) 午前 9時00分

閉会 令和7年9月25日(木) 午前10時00分

## 2. 案 件

### 付議事項

議案第37号 根室市立学校におけるスクールカウンセラー取扱要綱の制定について

【公開】審議の結果、原案どおり決定

議案第38号 令和7年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

【非公開】審議の結果、原案どおり決定

議案第39号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書の作成及び議会への報告について

【非公開】審議の結果、原案どおり決定

報告第7号 事務の臨時代理の報告について

【非公開】審議の結果、原案どおり決定

## その他

### 1. 今年度の全国学力学習状況調査の結果分析について

<学校教育指導室長>

今年度の全国学力学習状況調査について、調査の結果が出ましたので報告いたします。

#### ①平均正答率

平均正答率となっております。

昨年度と比較し、全道・全国との差は広がる結果となりましたが、中学校国語は全道との差が縮まる結果となりました。

#### ②各教科における領域別のレーダーチャート

各教科における領域別のレーダーチャートとなっております。

小学校国語・理科、中学校国語は、全道・全国との差はあまり大きくはないのですが、小中学校共に算数・数学の差が大きく見られることから、根室市の課題は算数・数学だということが分かります。

中学校理科は、今回IRTスコアで表示されているIRTバンド分布グラフとなっております。

IRTというのは、テストの各問題の特性と受験者の能力を統計的に評価するものであり、今回はiPadでテストを受けているため、生徒によってそれぞれ違う問題を解いております。

全国で共通して取り組んだ問題もあれば、違う問題も出題されているというものです。

この表でいいますと、下の1から5の数字が問題の難易度を示しております、数字が大きくなると難易度が高くなります。

根室市では難易度の低い1・2の問題は、全道・全国より多く解けているのですが、3から5の問題につきましては正答率が全道・全国より低いという結果となっております。

IRTでの出題は、個々に応じた具体的な経過を示せることから、来年は中学校英語、再来年は小中学校の国語、算数、数学がCBT調査へと変わる予定となります。

#### ③分析結果

分析結果となっております。

国語では、小中学校共に学んだことを自らの言葉や知識を用いて表現したり、相手に伝える力をつけていく必要があります。

算数、数学では、思考力や判断力、表現力を問う記述式の問題の平均正答率が低くなっているため、こちらも自分の考えを分かりやすく記述したり、他の人に説明する取組を授業で増やしていくことが求められます。

#### ④質問紙調査の結果集計

質問紙調査の結果集計となっております。

自分には良い所があるという児童生徒の割合が昨年度より大幅に上昇していることから、自己肯定感が上

がってきたことが分かります。

自己肯定感が上がることで、困難な状況でも自分を信じることができる前向きな思考と他人を尊重できる良い傾向にあると理解しております。

⑤児童生徒質問紙と平均正答率のクロス集計

児童生徒質問紙と平均正答率のクロス集計となっております。

やはり基本的な生活習慣や学校のコミュニケーション力が高い児童生徒の平均正答率は高く出ていることが分かります。

⑥調査結果を踏まえた今後の取組に向けての考察

今回の調査の結果から、今後の取り組みに向けての考察となっております。

朝食を毎日食べる児童生徒が、昨年より低く出ていることや、家庭での学習時間が依然として低いところも根室市の課題と感じております。

今後は保護者とより連携を取りながら、学校だけではなく協同し、改善を図る必要があると考えております。

以上で全国学力学習結果と分析の報告を終わります。

<教育長>

ただいまご説明がありました件についてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

<委員>

小学校、中学校の数学と算数の結果が低い理由は为什么呢。

<学校教育指導室長>

その年によって結果も多少は左右しますが、今年度は特に全国的にも少し低く出ているため、授業改善も続けてはいますが、やはり基本的な知識・技能の定着が弱いのかなという気はしております。

<教育長>

その他にご質問、ご意見はございますか。

<委員>

理科について、個々で問題が違うというお話ですが、こういった形で分けていますか。

また、単純な話ではないと思いますが、点数が取れるようなテストであるのか、苦手分野を確認できるようなテストなのでしょうか。

<学校教育指導室長>

子どもが選択したりという形ではなく、文科の方から振り分けている形となります。

能力別で振り分けて、その子の得意分野や苦手意識のあるものを見て取るといった形のテストになります。

どちらかという苦手分野を確認し、今後そこを伸ばしていくような形のテストになります。

<教育長>

その他ご意見等はございますか。

特になければ、以上で令和7年第9回教育委員会の会議を終了します。

(10時00分 終了)